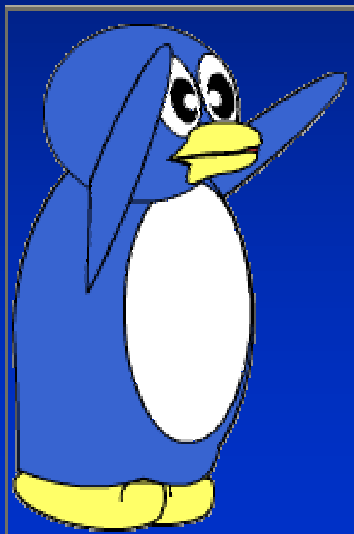


# 声門閉鎖術

ペンギンおやじ  
*Yasutomo Nakae*

# はじめに

- ペンギンおやじがこの度受けた声門閉鎖術についてご報告します。
- 会報誌のペンギン通信の中江です。  
ALSの告知を受け6年目を迎えました。昨年12月に気管切開を今年2月に声門閉鎖手術を受けました。



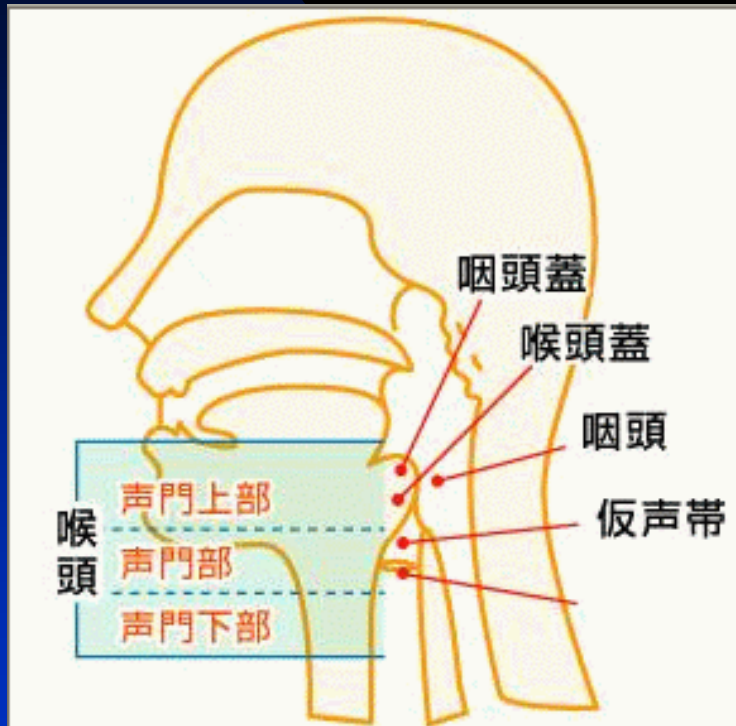
# 声門閉鎖術<喉頭分離術

声門閉鎖術は広義の意味で

- 声門閉鎖術は喉頭分離術の一種です。喉頭分離術は三つの方法があります。
- 喉頭摘出術  
喉頭と喉を広く切り取り縫合
- 喉頭気管分離術  
気管の途中を食道と接合
- 声門閉鎖術  
声帯を縫合



# 声門閉鎖術とは



- 声帯を縫合して気管に唾液の垂れ込みを防止
- 手術方法は喉頭摘出、喉頭分離より身体的に患者に対して負担が少ない。(手術はかるい)
- 気管切開手術後も声門閉鎖は可能

# 声門閉鎖術のメリット

- 誤嚥性肺炎のリスク低減  
唾液の垂れ込みによる肺炎の防止
- 痰の量の減少  
吸引回数の減少
- 摂食の可能性  
口からの摂食が可能に、味わうことの楽しみ(ビールが♪～♪♪♪)



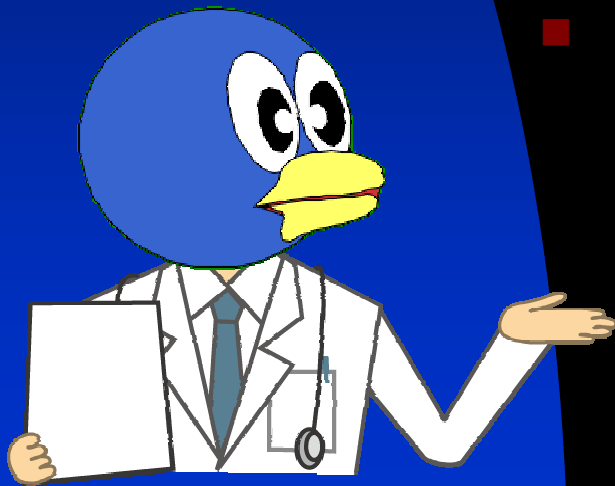
# 声門閉鎖術のデメリット



- 声帯を縫合してしまうので声が出せなくなります。
- 気管切開前から発声障害がありましたので、気になりませんでした。気管切開を決断した時にフンギリがついた。
- 縫合不全による再手術の心配
- 手術方法の改良＝三重の安全策
- 上声帯・下声帯・前頸筋の一部の三層構造で縫合しました。

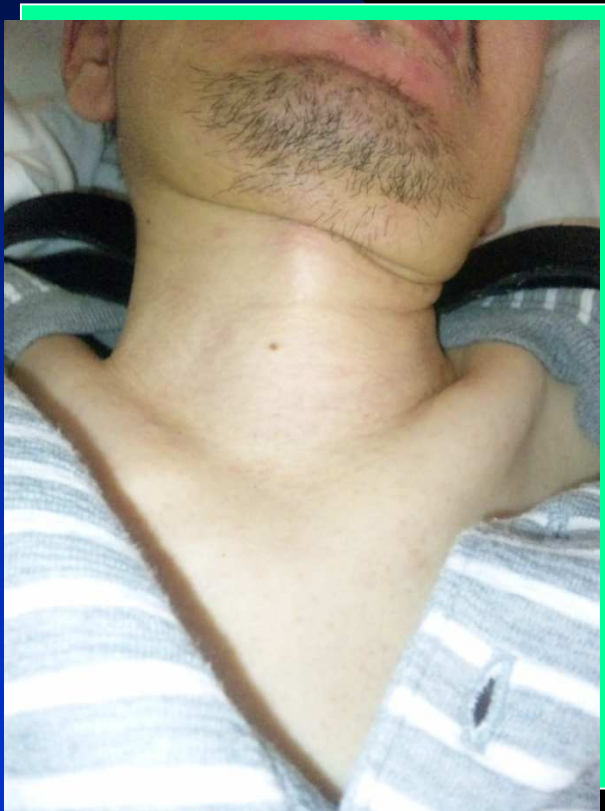
# 声門閉鎖術の選択

- 妻の介護負担軽減＝吸引回数減少  
手術に踏み切る最大要因  
自動吸引か声門閉鎖か？
- 誤嚥性肺炎リスク回避
- 摂食への期待  
手術の前は食べる・飲むことをずっと考えていました。



# 声門閉鎖術の実際

## ■ 気管切開前



## ■ 声門閉鎖後



- 写真説明
- カニューレの上に手術あと
- 気切口は手術後よりだいぶ小さくなりました
- 痛そうに見えますが本人は平気



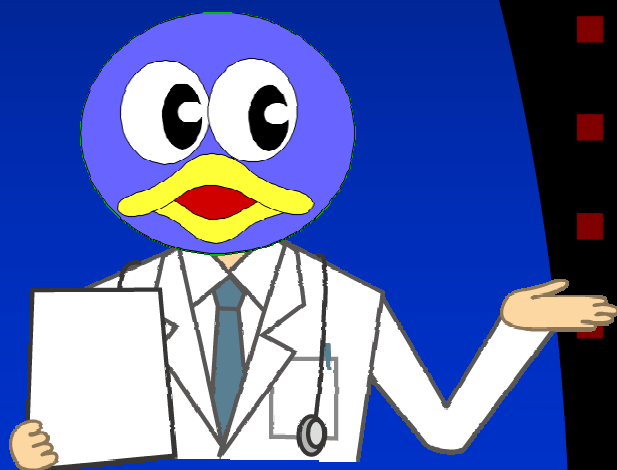
# 手術後の経過

- 手術後痛みは翌日にはずいぶん楽になりました。痛み止めはよく効きました。
- 縫合あとは三日後から腫れが出ましたが1週間で引きました。
- 唾液が多く最初は持続吸引をしていました、落ち着いたのは2週間後、口に当てたタオルは唾液で濡れなくなり。喉の吸引をした時、少量の出血は1週間で止まりました。



# 声門閉鎖手術を受けて

- 吸引回数はいくつ？
- 気管切開だけの時は安静時2時間  
間隔、頻回時30分～1時間もたない。
- 退院当初は吸引回数は多かったです。
- 退院1週間後、吸引回数はぐっと減りました。手術痕の刺激の減少
- そして妻は朝まで眠ります。
- 現在の無吸引連続時間？
- パソコン使用時 8時間
- カフアシストと相性バッチリ  
垂れ込みの痰は声門閉鎖でブロック、  
肺深部の痰はカフアシストでスッキリ。



2011/5/30

# 声門閉鎖手術を受けて

## ■ 経口摂取の可能性

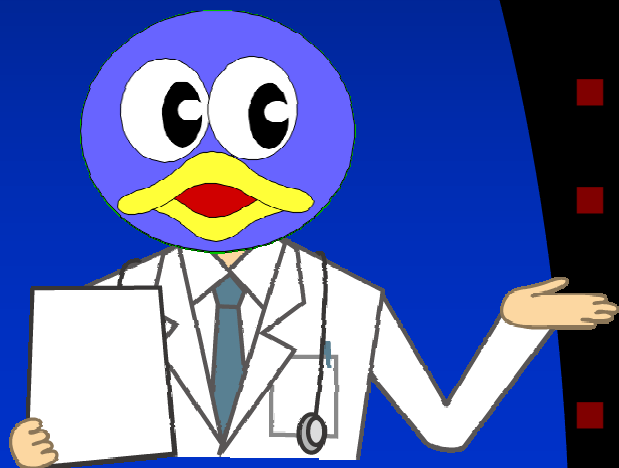
- 口から味わうことの楽しみ。
- 先に気管切開を受けた時は水も禁止
- たまに口腔ケアのリステリンを味わう

## ■ ふたたび口に入れる喜び

- リハビリは口に氷から始めました
- 喉を通る冷たい雫、ロスッキリ

## ■ 味の追求

- コーヒーを飲んでみた、なつかしい味
- 抹茶アイス・赤ワインを口に、美味
- なつかしい味の連続、QOLアップ

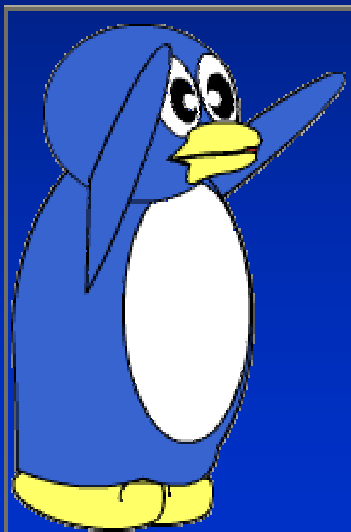


2011/5/30

# 声門閉鎖手術をおえて

ペンギンおやじにとってメリットが多かった

やっ  
てよ  
かっ  
た  
お  
し  
ま  
い



2011/5/30

詳しくはホームページでペンギンおやじの入院奮戦記  
近畿ブロックホームページ仲間のギャラリーから

Music:NHKクリエイティブライブラリー